Mimaki

UV PRINTER
UJF-706

日常のお手入れマニュアル

お願い

インクジェットプリンタは非常に微細なメカニズムを持つ精密機械です。特に、インクを吐出するヘッドのノズル面はわずかなホコリや紙粉の付着でも、吐出に影響を及ぼし、正常な作図結果を得られなくなる可能性があります。インクジェットプリンタの精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的に、以下のお手入れを日常行われることをお勧めします。

目　次

安全にお使いいただくために 2
- 使用環境とお手入れについて 2
- お手入れ上のご注意 2
- 外装のお手入れ 2

作図結果が改善されない場合は 3
- 作図不良の例 3
- ワイパのクリーニング 4
- ノズル吐出不良の回復方法 7

フラッシング BOX のクリーニング 8

作図中のインク滴の垂れを防ぐ 11

廃インクが溜まったら 14
- 廃インクタンクのインクを処分する 14
- ワイパタンクのインクを処分する 16

UV ランプフィルタの清掃 18

UV 電源フィルタの清掃 20

オプションバキュームユニットフィルタの清掃 22

保管方法について 24
- 不凍液・メンテナンス用洗浄液の保管 24
- メディアの保管 24
- インクカートリッジの保管 24

株式会社ミマキエンジニアリング

D202111-16

安全にお使いいただくために

使用環境とお手入れについて

- できるだけホコリの少ない環境で使用してください。 扇風機、 送風機なども周囲のホコリを舞い立たせる原因です。
- 紫外線硬化インク （UV インク） を使用するので、 換気のよい場所に設置してご使用ください。
- 使用環境温度は +15 ℃～ +30 ℃です。 これより低温／高温でのご使用は避けてください。

お手入れ上のご注意

- 本機は、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。

- 本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損の原因になります。

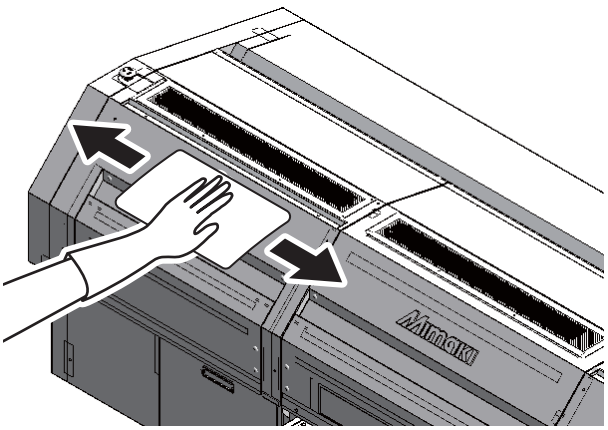
- お手入れは、主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。
- UV ランプの温度が完全に下がってから、お手入れを行ってください。UV ランプで火傷をする危険性があります。

- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。
- 紫外線硬化インク（UV インク）は、水やアルコールと混ざると凝集物が発生します。ノズル面はもちろん、ヘッド周辺へは、水またはアルコールを付着させないようご注意ください。

- 本機は紫外線硬化インク（UV インク）を使用します。
  お手入れの際には必ず付属のゴーグルと手袋を装着してください。

外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、 柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、 堅くしぼってから拭き取ってください。



作図結果が改善されない場合は

ヘッドのクリーニング （☞ 取扱説明書 P.2-11） を実行しても作図結果が改善されない場合は、 ワイパのクリーニングをしてください。

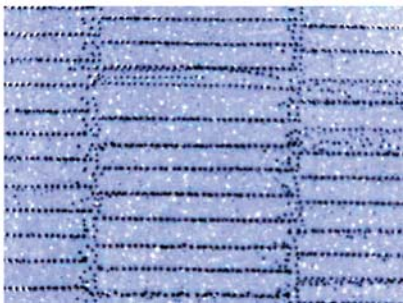
- 清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

クリーニングに必要なもの	• ワイパスポンジセット（SPC-0578）	• プレワイプゴム（SPA-0172）	
	• UJ 清掃棒（SPC-0386）	• 手袋	• ゴーグル

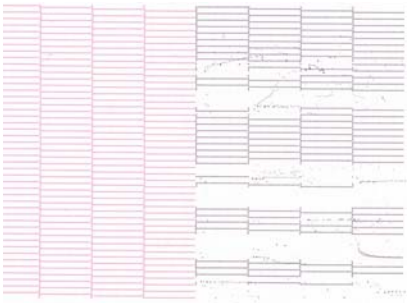
作図不良の例

ホコリなどを原因として発生する、 ヘッドの吐出不良が作図に及ぼす代表的な例を示します。 このような状態でご使用にならないように、 出力前や出力中に定期的にノズルの状態を確認されることをお勧めします。 ノズルの状態は、 本機の 「テスト作図」 で確認することができます。

飛行曲がり



ノズル抜け



ボタ落ち

しぶき

ワイパのクリーニング

1 電源を入れる

2 < ローカル > 表示のとき、FUNCTION キーを押す

〈ローカル．1〉

3 ▲▼を押して ［メンテナンス］ を選び、ENTER キーを押す

FUNCTION
メンテナンス 〈ENT〉

4 ▲▼を押して ［ステーションメンテナンス］ を選び、ENTER キーを押す

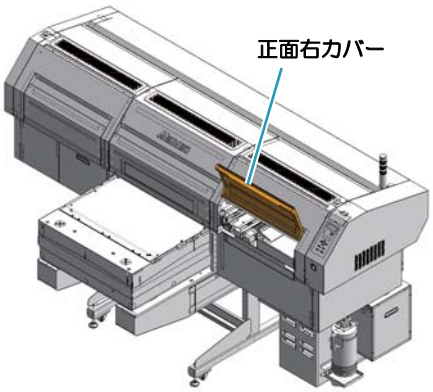
メンテナンス
ステーション メンテナンス 〈ent〉

5 ▲▼を押して ［ワイパセイソウ］ を選び、ENTER キーを押す

ステーション メンテナンス
ワイパ゜ セイソウ 〈ent〉

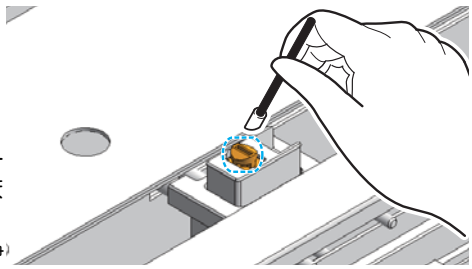
- キャリッジが左側のフラッシングトレー付近へ移動します。
- ワイパが手前に移動します。

6 正面右カバーを開ける



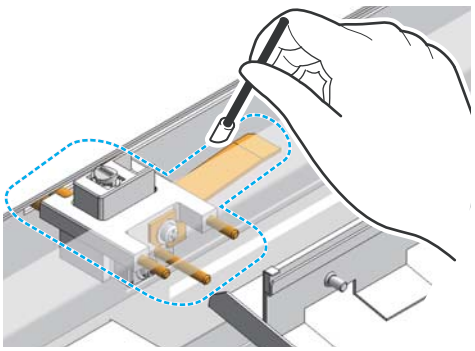
7 清掃棒でワイパの汚れを拭き取る

- 図の部分を拭いてください。
- 汚れがひどい場合、(FUNCTION)キーを押すと洗浄液がノズルから出てきます。
  再度(FUNCTION)キーを押すと、洗浄液は止まります。



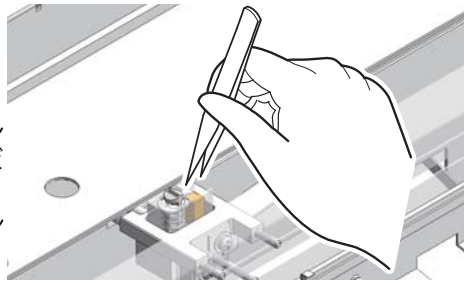
8 清掃棒でワイパ軸の汚れを拭き取る

- 図の部分を拭いてください。



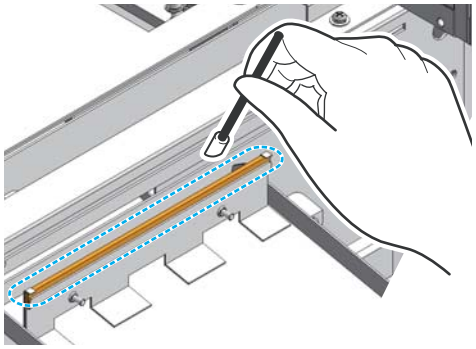
9 スポンジが汚れている場合は、スポンジを交換する

- ピンセット等でスポンジを取り外して、新しいスポンジをセットしてください。
- スポンジは半年に１回を目安に交換してください。



10 清掃棒でワイパーゴムの汚れを拭き取る

- 図の部分を拭いてください。
- ワイパーゴムの汚れがひどい場合は、ゴムを交換してください。



11 清掃が終了したら、ENTERキーを押す

```
ワイハ゜　セイソウ
シュウリョウ　　　　　：ｅｎｔ
```

- 初期動作を実行します。

12 ENDキーを押して終了する

ノズル吐出不良の回復方法

本機を長時間ご使用にならなかった場合や、 環境温度によってはノズルの吐出が安定しなくなることがあります。 この場合、 ノズルを回復させるために以下の方法があります。

注 意

- これらの方法を行ってもノズル吐出が回復しない場合には、弊社サービスまたはお買い上げの代理店にご連絡いただき、ヘッド交換等の処置が必要になります。

1 日常のお手入れを行う

- 本文に記載されている、 各所のお手入れを行ってください。

2 ヘッドのクリーニングをする （☞ 取扱説明書 P.2-13）

- 手順 1 の後、 取扱説明書の手順に従ってクリーニングを実行してください。
- クリーニングとテスト作図を繰り返し、 ノズル詰まりがなくなることを確認します。

- これまでの操作でノズル詰まりが回復しない場合には、弊社または本機をお買い上げいただいた販売店にサービスコールをしてください。

フラッシング BOX のクリーニング

フラッシング BOX の清掃の際はフラッシングフィルタの確認をし、必要に応じてフラッシングフィルタを交換してください。 (1 週間に 1 回程度)

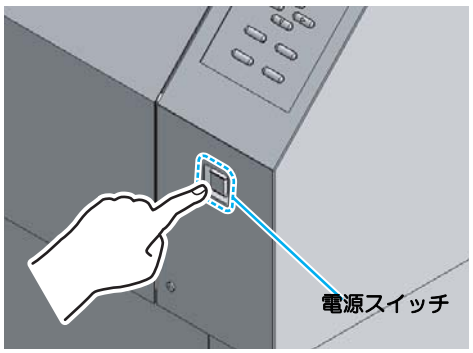
クリーニングに必要なもの	• 手袋	• 紙タオル	• ゴーグル

• 必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

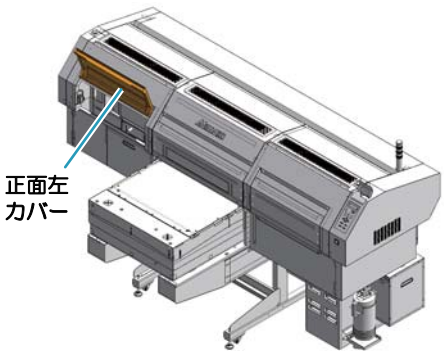
重 要 !

• フラッシングフィルタ :SPC-0655（廃インク吸収材）、ベンコット : A101437 は 1 週間に 1 回を目安に交換してください。フラッシングフィルタが吸収可能な量を超えると、インクが溢れることがあります。

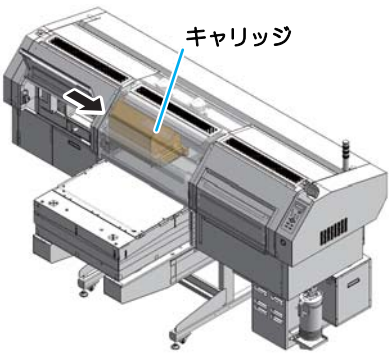
1 電源スイッチを押して、電源を切る



2 正面左カバーを開ける

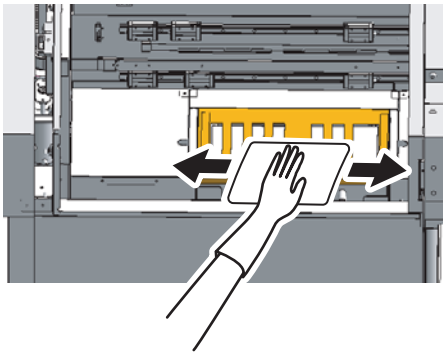


3 キャリッジを右側へ移動する

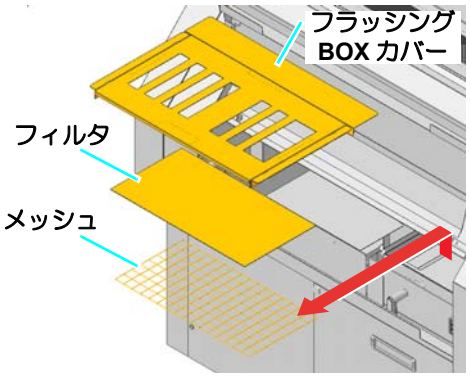


4 フラッシング BOX 表面のインクを拭き取ります

- フラッシングによりフラッシング BOX に付着したインクを、布を使って拭き取ります。

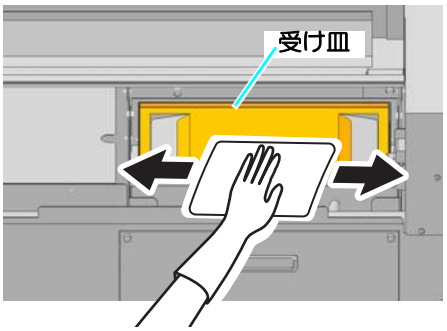


5 フラッシング BOX カバー、フィルタ、メッシュを取り外す

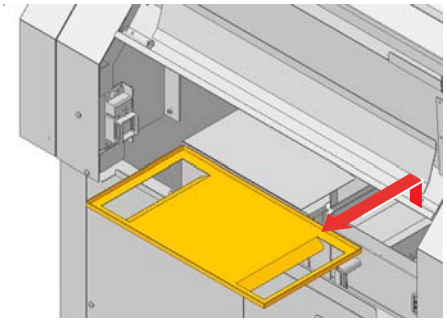


6 受け皿に付着したインクを拭き取る

- フラッシングにより受け皿に付着したインクを　布で拭き取ります。

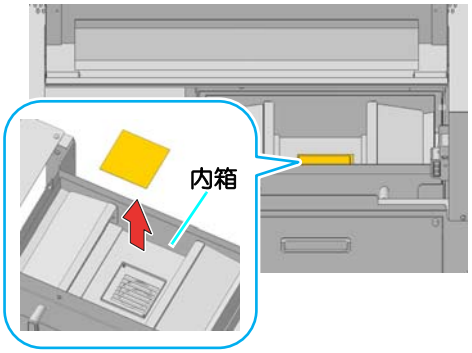


7 受け皿を取り外す

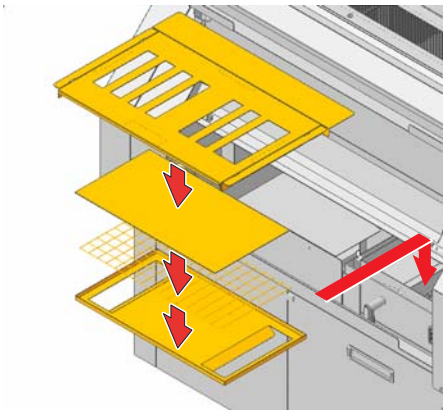


8 フラッシング BOX 内のベンコットを交換する

- 内箱の中にインクが付着している場合、布で拭き取ります。



9 受け皿、メッシュ、新しいフィルタ、フラッシング BOX をセットする



作図中のインク滴の垂れを防ぐ

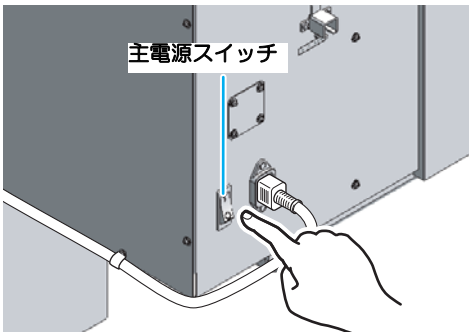
キャリッジ下面には、 作図中のミストによりインク滴が発生することがあります。 インク滴が垂れるとメディアが汚れたり、 かすれや抜けの原因となりますので、 頻繁にキャリッジ下面を清掃してください。

クリーニングに必要なもの	• UJ 清掃棒（SPC-0386）	• 手袋	• ゴーグル
	• 紙タオル		

1 UV ランプを消灯し、電源スイッチを OFF にする

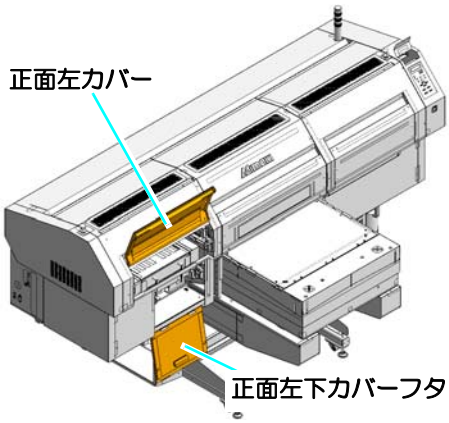
- 本機前面の電源スイッチを押します。

2 本機側面の主電源スイッチを切る

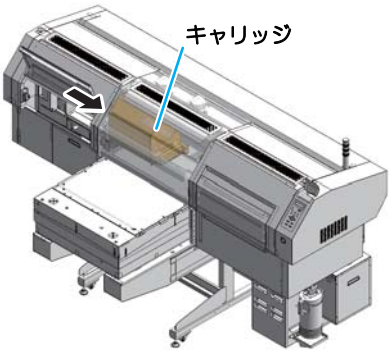


- ヘッドクリーニング中などインク排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。

3 正面左カバーと正面左下カバーフタを開ける

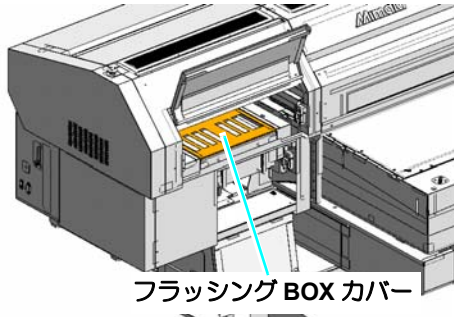


4 キャリッジを右側へ移動する



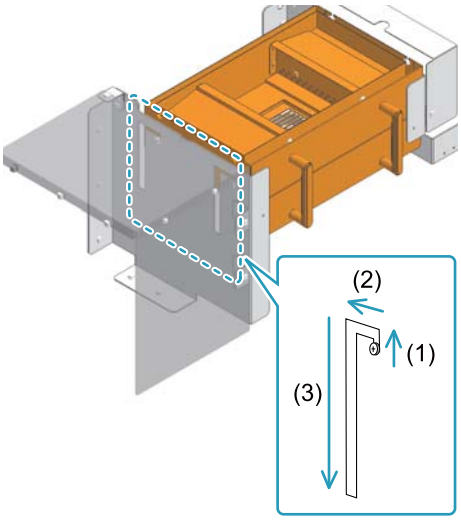
5 フラッシング BOX カバーを取り外す

- 上に持ち上げて取り外します。



6 フラッシング BOX を下に下ろす

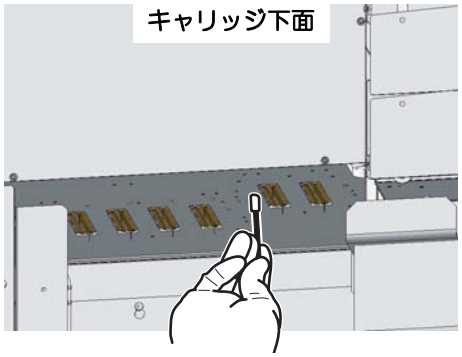
(1) 軽く持ち上げます。
(2) 奥に押し込みます。
(3) 下に下ろします。



7 キャリッジを、手動でフラッシング位置へ移動させる

8 清掃棒に洗浄液をしみこませ、ヘッドの側面を清掃する

- ヘッドのノズル面は拭かないでください。ノズル詰まりの原因となります。
- 専用の清掃棒をお求めの際は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- キャリッジ下面にインクが付着していた場合、きれいに拭き取ってください。



9 手順 4、5、6 で外したカバーとフラッシング BOX を元の位置に戻す

10 電源を ON にする

廃インクが溜まったら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、 廃インクタンクに溜まります。
定期的に(毎日)廃インクタンクをチェックして、インクが溜まっていたら処分してください。

- 予備の廃インクトレー/タンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃インクを移すための、キャップ付きタンクをご用意ください。

- ヘッドクリーニング中などインク排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。
- 廃インクトレー/タンクを取り扱うときは、廃インクがこぼれないようご注意ください。

廃インクタンクのインクを処分する

廃インクがタンクに一杯になると、ディスプレイにエラーを表示してお知らせします。エラーを表示した場合、 廃インクタンクを確認し、 下記手順に従い廃インクタンクのインクを処分してください。

```
<ローカル.1>
!ハイインク　タンク
```

1 電源を入れる

- 初期動作後、< ローカル > が表示されます。

2 < ローカル > 表示のとき、FUNCTION キーを押す

```
<ローカル.1>
```

3 ▲▼を押して［メンテナンス］を選び、ENTER キーを押す

```
FUNCTION
メンテナンス　　<ENT>
```

4 ▲▼を押して［ステーションメンテナンス］を選び、ENTER キーを押す

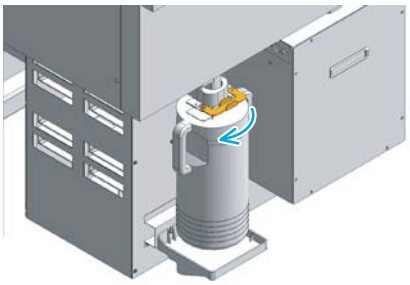
```
メンテナンス
ステーション　メンテナンス　<ent>
```

5 ▲▼を押して［ハイインクタンクコウカン］を選び、ENTER キーを押す

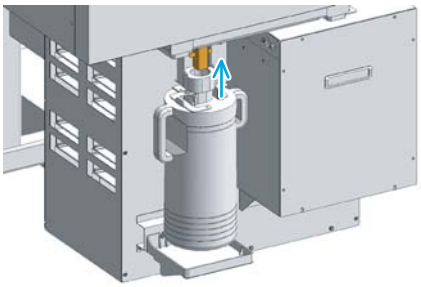
```
ステーション　メンテナンス
ハイインク　タンク　コウカン　<ent>
```

6 廃インクタンク固定金具を解除する

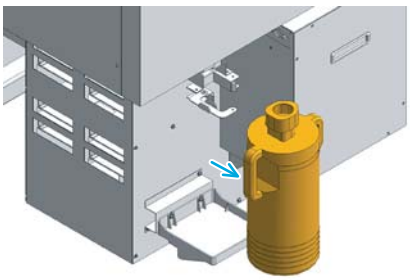
- 固定金具を矢印方向に開く



7 廃インクタンク内に入っているダクトを持ち上げる



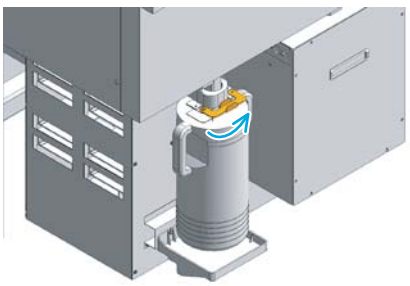
8 廃インクタンクを引き抜く



9 廃インクを別のポリエチレンタンクに移す

- 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。

10 空にした廃インクタンクを本機にセットする



11 ENTER キーを押す

```
ハイインク　タンク　コウカン
シュウリョウ　　　　　：ｅｎｔ
```

12 END キーを押して終了する

重要！

- ディスプレイのエラーが右の表示の場合、 クリーニング・サブタンクメンテナンスなどが実行できなくなります。すみやかに廃インクタンクのインクを処分してください。

```
〈ローカル．１〉
！ハイインク　タンク　フル
```

ワイパタンクのインクを処分する

ワイパタンクが一杯になると、ディスプレイにエラーを表示してお知らせします。
エラーを表示した場合、下記手順に従いすみやかにワイパタンクのインクを処分してください。

```
ワイパ゜タンク　フル
```

1 電源を入れる

- 初期動作後、< ローカル > が表示されます。

2 < ローカル > 表示のとき、FUNCTION キーを押す

```
〈ローカル．１〉
```

3 ▲ ▼ を押して［メンテナンス］を選び、ENTER キーを押す

```
FUNCTION
メンテナンス　　　　　〈ENT〉
```

4 ▲ ▼ を押して［ステーションメンテナンス］を選び、ENTER キーを押す

```
メンテナンス
ステーション　メンテナンス　〈ｅｎｔ〉
```

5

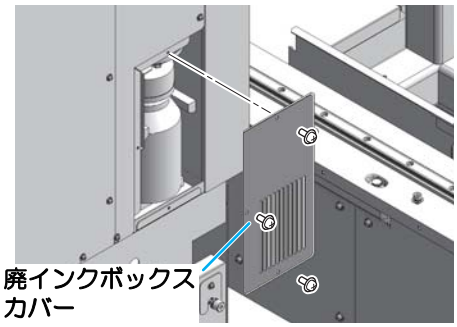
▲ ▼ を押して［ワイパタンクコウカン］を選び、ENTER キーを押す

```
ステーション　メンテナンス
ワイハ゜タンク　コウカン　　〈ｅｎｔ〉
```

6

廃インクボックスカバーを開ける（本機背面）

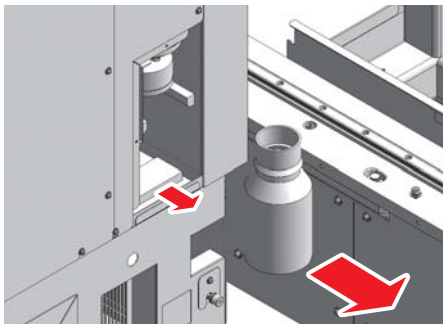
(1) 廃インクボックスカバーのネジを外す
(2) カバーを開ける



7

ワイパタンクを外し、廃インクを廃棄する

- タンクのふたを持ってタンクを回し、タンクを取り出します。
  中のインクを処分してください。
- 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。



8

ワイパタンクを戻す

- ふたを持ってタンクを回し、ふたを閉めます。
- 廃インクボックスカバーを取り付けます。

9

ENTER キーを押す

```
ワイハ゜タンク　コウカン
シュウリョウ　　　　　：ｅｎｔ
```

10

END キーを押して終了する

UV ランプフィルタの清掃

本機を末永くご利用いただくために、 一日の作業終了後に UV ランプフィルタを清掃してください。

- 必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

- フィルタの清掃中にネジなどを落とした場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。
- ディスプレイに右のメッセージが表示された場合、すみやかに UV ランプフィルタを清掃してください。

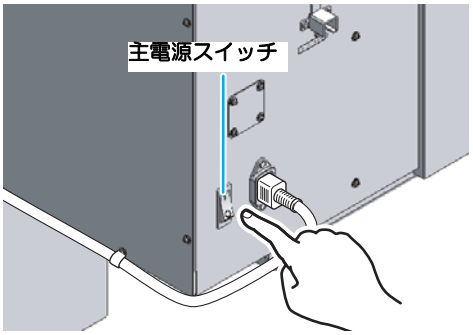
メンテナンス　ワーニング゛
UV ランプ゜　フィルター　セイソウ

作業に必要なもの	• 手袋	• ゴーグル	• ステンレスチューブブラシ

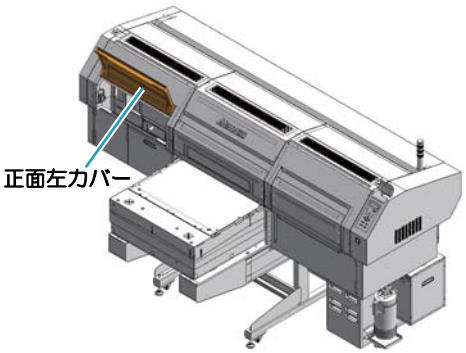
1 UV ランプを消灯し、電源スイッチを OFF にする

- 本機前面の電源スイッチを押します。

2 本機側面の主電源スイッチを切る

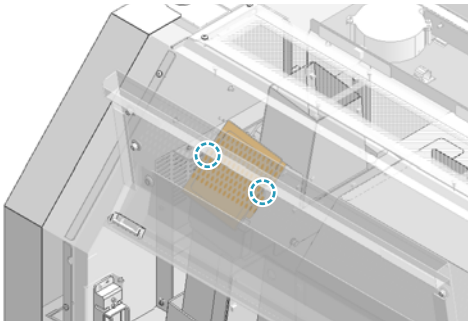


3 正面左カバーを開ける

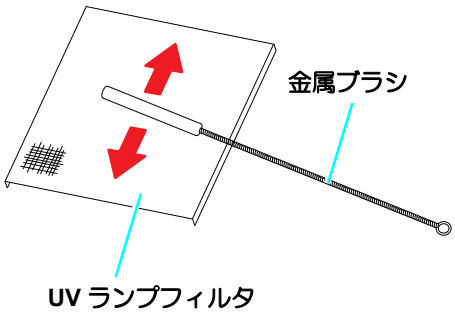


4 UV ランプフィルタを取り外す

- つまみネジを外し、フィルタとフィルタ押さえを上方向に移動させながら取り外す。



5 付属の金属ブラシで、UV ランプフィルタに溜まったミストをかき落とす



6 UV ランプフィルタを取り付け、正面左カバーを閉める

- 手順 3、4 の逆の手順で取り付けます。

UV 電源フィルタの清掃

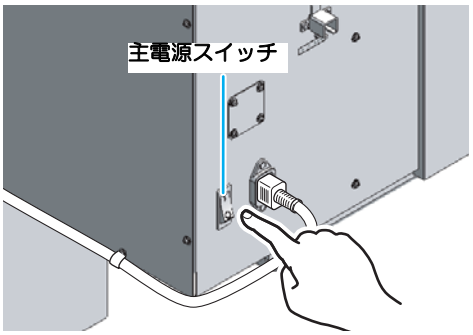
本機を末永くご利用いただくために、 一日の作業開始前に UV 電源フィルタを清掃してください。

作業に必要なもの	• ウェス	• 掃除機	

1 UV ランプを消灯し、電源スイッチを OFF にする

- UV 電源前面の電源スイッチを押します。

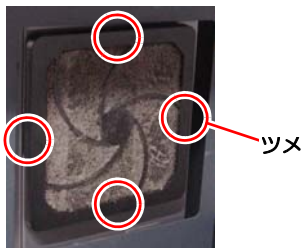
2 本機側面の主電源スイッチを切る



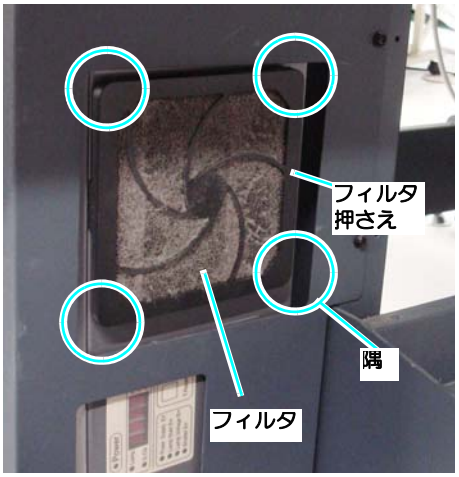
3 UV 電源正面のフィルタを外す

(1) フィルタ押さえの四隅に指を入れ、フィルタ押さえを手前に引く

(2) フィルタ押さえの 4 辺にあるツメをすべて外す



(3) フィルタを取り外す



重 要！

- フィルタ押さえの 4 辺にあるツメは、強めに固定されています。ツメが割れないように十分注意してください。

4 掃除機でフィルタに付着したホコリやチリを吸い取る

- UV 電源側の金網も、ウェスなどで拭き取る

重 要!

- 目詰まりのないようにすること。

ホコリで目詰まりしている

目詰まりのない状態

注 意

フィルタを水洗いしないでください

- 水分や水滴が装置内部に入らないように注意してください。万が一、フィルタに水分が付いた場合は、よく乾かしてから使用してください。

5 フィルタを元の位置にセットする

オプションバキュームユニットフィルタの清掃

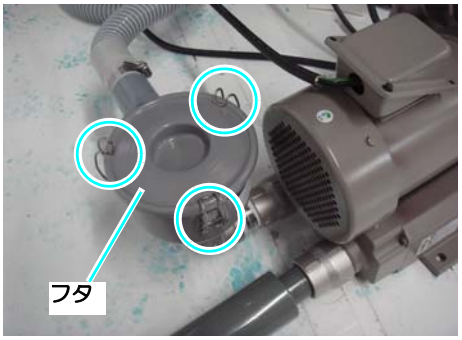
オプションバキュームユニット (OPT-J0270) をお使いの場合、 バキュームユニットのフィルタ清掃をしてください。 (1 週間に 1 回程度または吸着力が弱くなった場合)

作業に必要なもの	• ウェス	• 掃除機	

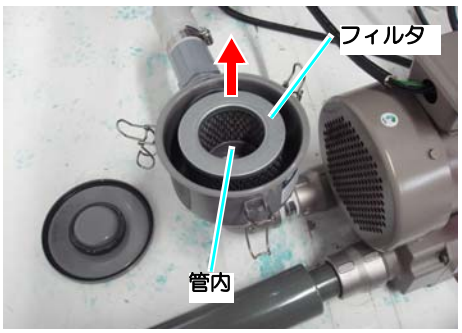
1 本体とバキュームユニットの電源スイッチを OFF にする

2 フタを外す

• フックを外して、 フタを取ります



3 フィルタを取り出す



重 要 ! • フィルタを取り出す際は、ホコリやチリが管内に入らないに注意すること。

4 掃除機でフィルタに付着したホコリやチリを吸い取る

5 ウェスなどでフタに付着したホコリを拭き取る

- フタに大きなホコリが付くと、吸着力が弱くなる原因になります。

6 フィルタを元の位置にセットする

(1) フィルタを押さえながら、フタが開かないようにして閉じる (フタが浮いているとフックをかけられません)
(2) フックをかける

重 要!
- ゆがみ、締め忘れがあると吸着力が著しく低下する場合があります。

注 意

フィルタを水洗いしないでください
- 水分や水滴が装置内部に入らないように注意してください。
  万が一、フィルタに水分が付いた場合は、よく乾かしてから使用してください。

保管方法について

不凍液・メンテナンス用洗浄液の保管

不凍液、 メンテナンス用洗浄液は、 冷暗所で保管してください。 また子供の手の届かない場所に保管してください。

メディアの保管

メディアは、 ほこりがつきにくく直射日光が当たらない場所に保管することをお勧めします。 また湿度も嫌いますので高温多湿の場所での保管は避けてください。

インクカートリッジの保管

直射日光があたらず、 湿度の高くない場所に保管してください。
精細な製品ですから、 落下させたりぶつけたりしないでください。
インクカートリッジに装着されている基板 （右写真） は、 汚したり、 静電気放電させたりしないでください。

日常のお手入れマニュアルの最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

D202111-16-16032012
Printed in Japan
© MIMAKI ENGINEERING Co., Ltd. 2012

IT
FW : 1.9